

（新）土地利用用途等に応じた土壌汚染対策推進費

44百万円(0百万円)

水・大気環境局土壌環境課

1. 事業の概要
 土壌汚染が、現在深刻化する。その対策として、土地利用用途等に応じた土壌汚染対策の推進を図る。また、土壌汚染の現状を把握し、土壌汚染の程度や現場の状況に応じた対策の検討を行う。また、土壌汚染の現状を把握し、土壌汚染の程度や現場の状況に応じた対策の検討を行う。また、土壌汚染の現状を把握し、土壌汚染の程度や現場の状況に応じた対策の検討を行う。

- (1) 土地利用用途に応じた対策基準の検討
 現状では、土壌汚染対策の必要性を判断するたための基準が全国一律の基準となっており、公園等、土地利用用途に別々の基準を設ける必要がある。我が国で、我が国における土壌汚染対策の推進を図る。
- (2) 汚染地毎のリスクアセスメント手法の検討
 諸外国では、土壌汚染リスクアセスメント手法の検討を実施し、対策に活用する。また、土壌汚染の現状を把握し、土壌汚染の程度や現場の状況に応じた対策の検討を行う。また、土壌汚染の現状を把握し、土壌汚染の程度や現場の状況に応じた対策の検討を行う。
- (3) 土壌汚染リスクアセスメント現場調査
 土壌汚染の現場で、実際に汚染地毎の汚染の程度や現場の状況に応じた対策の検討を行う。また、土壌汚染の現状を把握し、土壌汚染の程度や現場の状況に応じた対策の検討を行う。
- (4) 土壌汚染対策の普及啓発事業
 汚染地毎のリスクアセスメント導入や土地利用用途に応じた対策の普及促進を図る。また、土壌汚染の現状を把握し、土壌汚染の程度や現場の状況に応じた対策の検討を行う。

2. 事業計画

調査項目	H20	H21	H22
土地利用用途に応じた対策基準の検討	←		→
汚染地毎のリスクアセスメント手法の検討	←		→
土壌汚染リスクアセスメント現場調査	←		→
土壌汚染対策の普及啓発事業	←		→

3. 施策の効果
 土壌汚染対策の新たな施策展開が図られ、合理的かつ適切な土壌汚染対策の促進、ブラウンフィールド問題の緩和に資する。

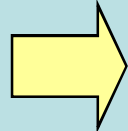
4. 備考

調査費	42,577千円	
(内訳)		
土地利用用途に応じた対策基準の検討		8,271千円
汚染地毎のリスクアセスメント手法の検討		6,947千円
土壌汚染リスクアセスメント現場調査		20,840千円
土壌汚染対策の普及啓発事業		6,519千円
外国旅費	1,143千円	

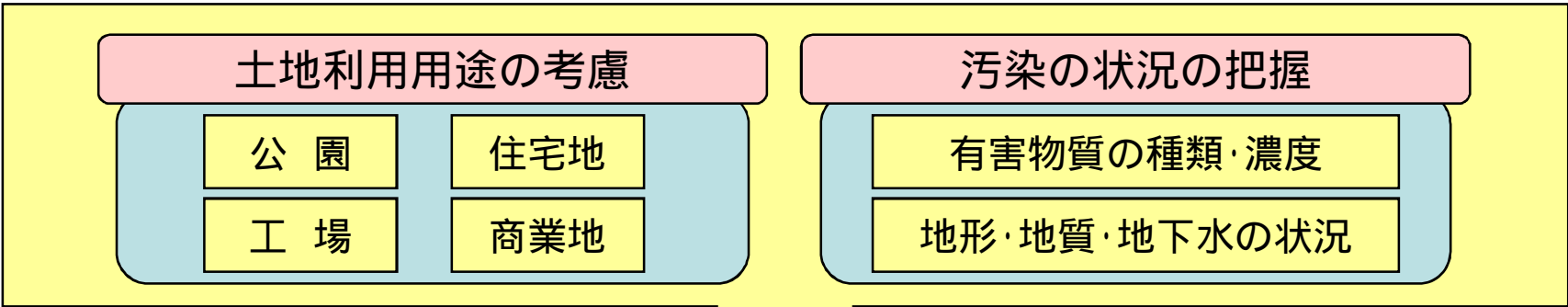
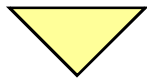
(新) 土地利用用途等に応じた土壌汚染対策推進費

ブラウンフィールド問題が今後深刻化する可能性

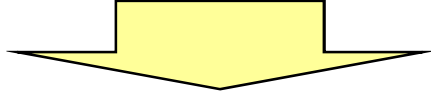
不動産取引などで、完全な掘削除去が求められる傾向



土壌汚染対策費の高額化
工場跡地等の放置



リスクを的確に評価



効果

合理的かつ適切な土壌汚染対策の促進
ブラウンフィールド問題の緩和